

あかやま
赤山節
(三下げ)

あかやまん ふいさち すら
1. 赤山芋蔓先エー梢にむでいくゆいやリクヌ

わ うみさとう
でい我ね思里とうけむでいくらな

ハラユイユイ ヤリクヤリクヌ

しぬ かた なか
忍でい語らたる中ぬあさぎハラユイユイ

ていんがら しまゆく
2. さらば天川やエー島横になとういやリクヌ

た むどう ゆび じぶん
でいちゃよ立ち戻ら昨夜ぬ時分

ハラユイユイ ヤリクヤリクヌ

しぬ かた なか
忍でい語らたる中ぬあさぎハラユイユイ

舞踊「海ぬちんぼうら節」「むんじゆる節」の一節

赤山芋の蔓先が高く伸びている

私が慕う貴方とあの蔓のように
絡み合いたい

中の離れ屋で人目を忍んで
語り合った時のように

天の川が島にかかったら

さあ、夜のうちにそっと帰りましょう

赤山節 (三下げ) 七 = 七#

歌:老 四 上 中 工 五 七 八

四 中工 上四 五四 中工 上四 五

四 中五 中七 中五 中七 中七 中五 中七 中七 中五 中七 中五 中
 あか や ま ん ぶえ さあ ち ええ えす らに いむ 中
 さら ば てい ん があ らあ や ええ ええ し まゆ うく

七 中工 中工 中五 七五 中五 中七 中七 中工 五四 七四 五四 七
 でい い く ゆ いや りく ぬ でいわ ねえ うう み さあ あと う
 に い なと ー いや りく ぬ でいちや お たあ ち むう うど う

四 五四 七中 五工 中工 上四 五四 中工 上四 五四 中工 中五 七
 とら けむ でいい くう らな は らゆ いゆ い やり く や り
 ら ゆび めう じい ぶん

五 中五 中七 中七 中工 五四 七四 五四 七四 五四 七中 五工 中
 く ぬ しぬ でいい かあ た らあ あた ある なか めう あ

工 上四 五四 中工 上四 五
 あ さぎ は らゆ いゆ い

1. 赤山芋蔓先エ一梢にむでいくゆいやリクヌ
 でい我ね思里とけむでいくらなハラユイユイ
 ヤリクヤリクヌ忍でい語らたる中ぬあさぎハラユイユイ
2. さらば天川やエ一島横になとしいヤリクヌ
 でいちやよ立ち戻ら昨夜ぬ時分ハラユイユイ
 ヤリクヤリクヌ忍でい語らたる中ぬあさぎハラユイユイ